

1130県民運動推進員研修会協議のまとめ

<協議題> 1130県民運動を推進するためにどうあればよいか。(広報啓発・機会提供について)

課 題	方 策
<ul style="list-style-type: none"> ● TVCM の強化 ● 広報が部分的である。 ● 自治公民館との連携不足 ● 運動をしていない人に向けてのPR方法が見えない。 ● 1130体操が意外と難しく覚えられないので教えられない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 委託事業を受け、その予算から広報する。 ○ 体操を推進する「アイドル」を任命する。 ○ 自治体のイベント等で推進させてもらう。 ○ 学校の先生に研修してもらい、授業で実施する。 ○ 指導者が各市町村を巡回する。 ○ 1130体操のCDを作成する。
<ul style="list-style-type: none"> ● イベントのお知らせをしても参加者が少ない。 ● 1130がどういうものかわからない。 ● 1130の意味を理解してもらるのが難しい。 ● 1130運動を推進する場所がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 様々な施設の玄関等に幟を立てる。 ○ 出前式で体操を広げる。 ○ 企業訪問を行い、体操をしてもらう。 ○ 親子会等へ声をかける。 ○ サテライト型で広げる。
<ul style="list-style-type: none"> ● 広報のための予算がない。 ● 県の広報不足 ● 1130運動を知っていない人が多い。 ● 1130を提唱しても、何の運動をしていいかわからない人がいる。 ● スポーツに興味のない方にどう説明したらいいのか。 ● やる気を出させる方法がわからない。 ● 運動の必要性を伝える機会が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 推進員のレベルアップを図る。 ○ 県広報とか多くの人が目にするものにPRする。 ○ 県のメディアによるPR ○ 指導者・区長・地域のリーダーの行動不足 ○ スポーツ推進員が指導するために研修が必要 ○ 保育園・幼稚園・小学校・中学校で体育の授業に取り入れる。 ○ 県・市町村・地区の連携を図る。
<ul style="list-style-type: none"> ● 運動をしていない人への声かけが難しい。 ● 広報をどのようにしていいかわからない。 ● 1130の文字を見る機会がない。 ● 知名度が低い。 ● クラブで広報する予算がない。 ● 運動をしない人を運動の場に出すのが難しい。 ● イベントをしても人が集まらない。 ● 1130体操の音楽CDが必要 ● 体操のスローバージョンが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 老人会・婦人会等にも呼びかける。 ○ 企業の朝の体操とかに活用してもらうために異業種にもPRを行う。 ○ スポーツ少年団とタイアップ ○ 文化系のクラブ等でも実施する。 ○ 義務教育課程で実施する。 ○ 広報紙で広報する。 ○ 市町村に1130のPRを頼む。 ○ マスメディアを活用する。 ○ 1130運動に参加したらスタンプをもらえようにする。

課 題	方 策
<ul style="list-style-type: none"> ●チラシ配布は効果がない。 ●チラシを配布するが人が集まらない。 ●行政の回覧を使えない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○推進員がいろいろな集まりに出向いていく。 ○チラシより口こみが効果がある。 ○県の広報紙にクラブの事業計画等を載せる。 ○1130についての話し合いをする。 ○健康増進マイレージ制度 ○1130推進員だけでなく、行政の部署との連携を図る。
<ul style="list-style-type: none"> ●1年経過したが、市民全体に伝わっていない。 ●イベント等に参加者が集まらない。 ●講師の問題 ●広報の問題 ●運動していない人の分析 ●DVDの活用が図られない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○県や市町村の広報紙に掲載する。 ○テレビ、新聞を使った広報、コマーシャルなど ○テレビの字幕放送 ○CDによる前説 ○DVDを各種スポーツ団体・老人ホーム等に配布 ○フェイスブック等を活用 ○運動していない人の年齢別・地域別を洗い出して、重点的に行う。 ○自治公民館の活用 ○イベント等に積極的に入る。
<ul style="list-style-type: none"> ●1130の説明がしにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ経験のない人に地域で種目を決めて1130運動を進める。 ○広報チラシを全戸数回覧する。 ○自治会、学校などで広報する。
<ul style="list-style-type: none"> ●1130の広報が進んでいない。 ●どのように広報すればよいかわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な人への声かけ ○推進員の資質アップ ○保育園や学校の行事で体操 ○町内会の広報紙で呼びかける。 ○出前をする。 ○体操の声付きのCDが必要 ○マスメディアの利用
<ul style="list-style-type: none"> ●広報のアピール不足 ●普段スポーツをしている人しか知らない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校へのアピール ○公民館へのアピール ○口コミで広めていく。 ○体育施設以外でのアピール ○大型スーパー、駅での広報 ○各団体との連携強化 ○県や市町村の広報紙の活用

課 題	方 策
<ul style="list-style-type: none"> ● 広報がうまくできていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ TVコマーシャル等を活用する。 ○ 公民館活動の中で行う。 ○ 老人会・学校、幼稚園にも宣伝する。 ○ イベントごとに幟を立てる。
<ul style="list-style-type: none"> ● 市町村のPRがない。 ● 意識が低い。 ● 1130の意味がわかっていない。 ● 推進する側に積極性がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ TV・CMの活用 ○ 推進員のロコミ ○ ポスター・幟をもっと出す。 ○ イベントを企画する標語などを募集する。 ○ 解説用の体操CDがほしい。 ○ 県のいろいろな団体への声かけを行う。(福祉・学校・医療)
<ul style="list-style-type: none"> ● メディアで取り上げられることが少ない。 ● 知らない人に伝わりにくい。 ● 市民への周知不足 ● 運動をあまりやらない方とのふれあいが少ない。 ● 新聞・チラシに費用がかかる。 ● 自治体の取組が弱い。 ● 事業の取組に仕方がわからない。 ● 参加しやすいプログラムの開発 ● 推進員の勉強不足 ● 企画・立案・実施が大変 ● 公的機関の敷居が高い。(チラシの配布に非協力的) ● 県民にニーズは？ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県の広報の活用 TV, ラジオ等の活用 ○ 月1度のペースで1130啓発のイベント案内を行う。 ○ 県の研修会を多く行う。 ○ 参加しやすい場所、環境、価格を設定する。 ○ イベント情報をHPやフェイスブックで紹介 ○ 文化系サークルにも案内する。 ○ 幟を多く作成する。 ○ アンケートを行い、どんなスポーツ・運動がしたいかを調査する。 ○ 地域で取り組む。学校・自治会の協力 ○ 行政の横のつながり ○ 各市町村長の挨拶の場で一言1130運動のことを入れてもらう。